

3月定例教育委員会 資料
令和3年3月30日
学校保健給食課

鳥取市学校給食センター整備計画検討委員会の経過報告について

鳥取市学校給食センター整備計画検討委員会で検討を進めている学校給食センターの整備に関し、第3回検討委員会を開催しましたので報告します。

1. 鳥取市学校給食センター整備計画策定支援業務の結果報告について
受託業者：「三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社大阪」
報告内容：建設候補地の抽出・評価報告

（別紙のとおり）

2. 今後のスケジュール

令和3年4月～

- 施設整備の条件整理、事業手法の検討
- 事業スキームの検討
 - ・事業スケジュール
 - ・民間委託の業務範囲
 - ・事業期間、委託方法
- 事業実施方針・計画
 - ・全体・個別の整備運営検討

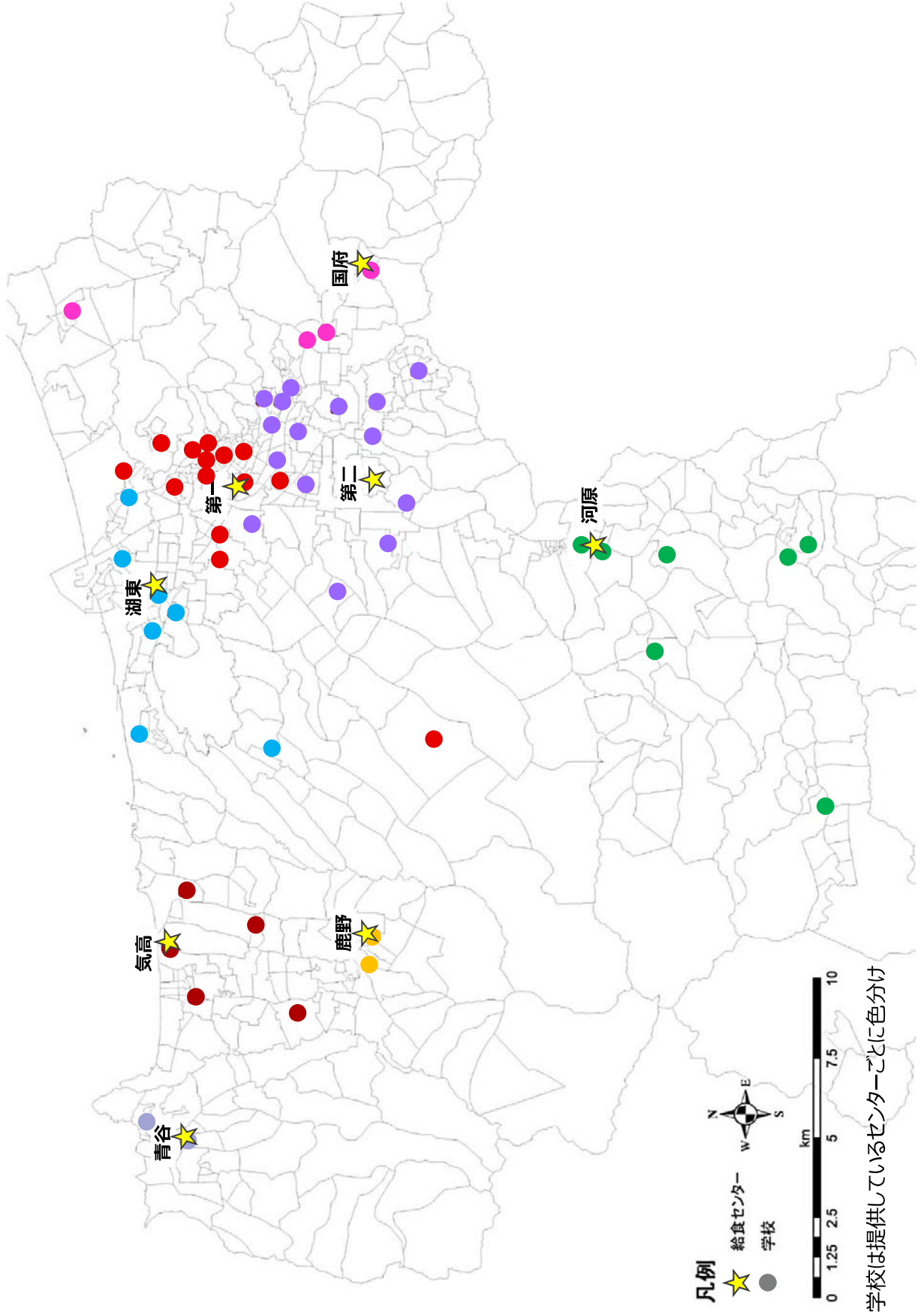


第3回

鳥取市学校給食センター整備計画
検討委員会

2021年3月25日

前提条件①鳥取市内の学校配置



前提条件②鳥取市内の給食センターの現状

中心部エリア

名称 (略称)	築年数	提供食数	受配校
第一センター	32年	4,776食	15校
第二センター	30年	5,148食	15校
湖東センター	31年	2,911食	7校
国府センター	16年	1,035食	4校



- ・第一・第二・湖東これら3箇所の給食センターはいずれも築30年以上が経過し、老朽化・設備の陳腐化は他と比較して進んでいる。
- ・提供食数は約13,000食であり鳥取市全域の80%を占めている。事業としてスケールメリットを發揮しやすいエリア。

▼第一給食センター (築32年)



▼河原給食センター (築23年)



南エリア

名称 (略称)	築年数	提供食数	受配校
河原センター	23年	888食	7校

- ・給食センターの統合が完了している。
- ・他の給食センターと比較すると、状態は良い。

西エリア

名称 (略称)	築年数	提供食数	受配校
気高センター	25年	663食	5校
鹿野センター	31年	266食	2校
青谷センター	26年	334食	2校



- ・鹿野センターは築30年以上が経過しており老朽化が進んでいる。
- ・各センターの提供食数を見ると、いずれも中心部エリア・南エリアのセンターと比較して少なく、効率的な運営が求められる。
- ・青谷センターは地盤沈下の恐れあり。

▼鹿野給食センター (築31年)

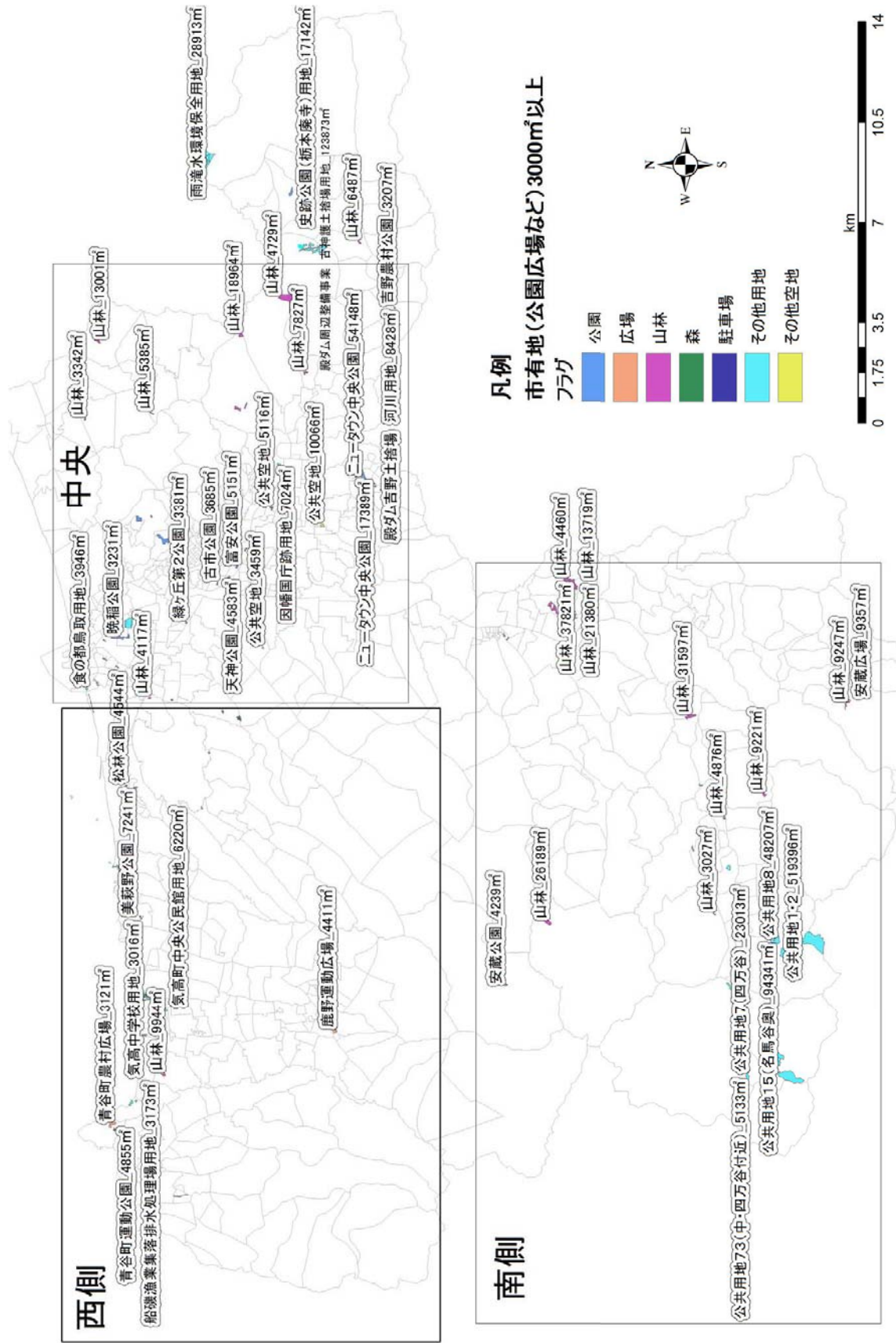


※提供食数・受配校は令和2年5月時点

前提条件③給食センターの設置個所数について

	1か所	2か所	3か所
整備・維持管理コスト	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 1か所の場合、整備費の合計としては最も小さくなる。 ・大手・中堅建設会社の応募も期待できるが、地元業者の参画できる規模を超える可能性が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2か所の場合、1か所は中心部となり、もう1か所は南エリアか西エリアとなるが、南エリア・西エリアに建設するセンターは5,000食以下とした場合、コストメリットは出にくい。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 3か所の場合は1か所、2か所と比較し整備費は増大する。 ・中心部・南エリア・西エリアそれぞれに配送可能な立地を選ぶこととなり、効率的な分担が可能。 ・地元業者も参画しやすい規模の選択も可能。
2時間喫食	<ul style="list-style-type: none"> × 鳥取市内の遠隔地（特に山間部）への配送は非常に厳しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西エリア・南エリアにある程度カバーすることができるとが。 ・3か所と比較すると災害・悪天候の影響を受けやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 各エリアへの効率的な配送が可能。 ・災害・悪天候等の影響を受けづらく、万が一1か所のセンターが機能を停止した際も一時的に配送範囲を拡大するなど柔軟な対応が可能。
確実な調理の実施	<ul style="list-style-type: none"> △ 近隣だけでなく遠方からも調理員を集める必要があると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分散するため各エリアの調理員を引き続き採用できる可能性が高い。 ・ただし中心部に食数の大きなセンターを整備する場合、調理員の確保が困難になる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各エリアの現センター調理員を引き続き採用できる可能性が高い。
用地選定	<ul style="list-style-type: none"> × 中心部に15,000㎡以上の土地を確保する必要がある。（確実にご利用できる用地は現状無い。） 	<ul style="list-style-type: none"> △ 中心部に比較的広い（10,000㎡程度）の用地が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各用地が10,000㎡未満であっても可能。 ・現センター用地等、サブの選択肢も増える。

給食センターの候補地抽出①前回委員会時点の抽出候補地(3,000㎡以上)



給食センターの候補地抽出②評価対象地の選定

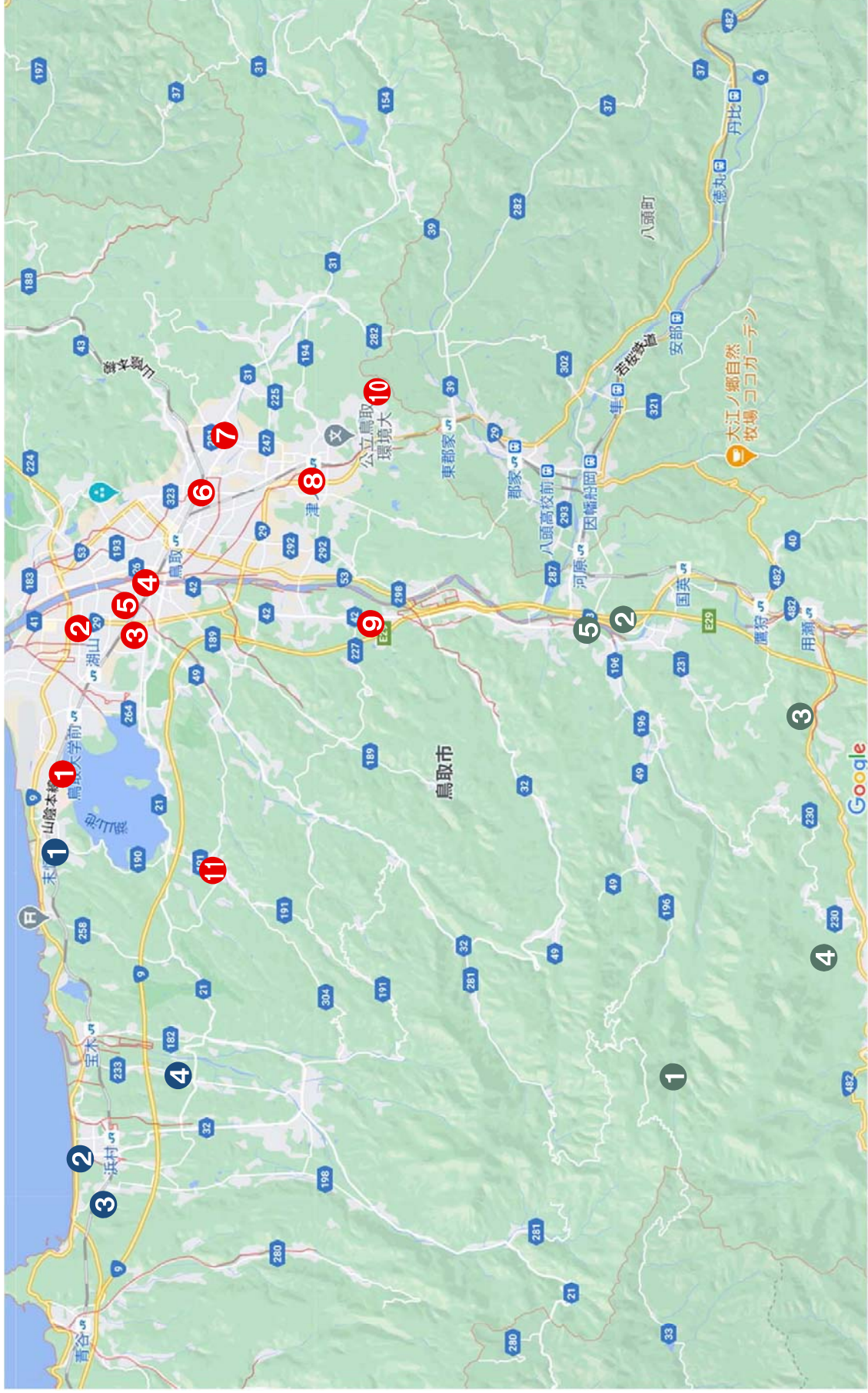
- ▶ 建物が建っていない市有地で、3,000㎡以上の土地を選定（使用されている用地も含む）。
- ※ただし、廃校（予定を含む）は選定対象としている。
- ▶ その中から評価項目①敷地面積がC評価以上（5,000㎡以上）の用地を主要な候補地として抽出した。
- ▶ 山林は候補地が少ない南・西エリアでのみ抽出した。
- ▶ 候補地は下表の20か所。（候補地の評価については別紙評価一覧参照）

エリア	No.	名称	住所
中心部	1	土地開発公社所有地A	鳥取市三津1072-203
中心部	2	千代水スポーツ広場	鳥取市千代水三丁目110
中心部	3	世紀小学校内	鳥取市徳尾418-1
中心部	4	千代テニスコート	鳥取市緑ヶ丘一丁目838-2
中心部	5	公設卸売市場内	鳥取市南安長578-2
中心部	6	源吉兆庵貸付用地の一部	鳥取市南吉方三丁目201-1
中心部	7	あおば公園	鳥取市国府町新町2丁目
中心部	8	津ノ井スポーツ広場	鳥取市南栄町30-1
中心部	9	元江山中学校校庭	鳥取市倭文69-1
中心部	10	土地開発公社所有地B	鳥取市若葉台南4-2
中心部	11	旧湖南中学校	鳥取市吉岡温泉町787-1

エリア	No.	名称	住所
南	1	山林A	鳥取市河原町北村
南	2	山林B	鳥取市河原町高福
南	3	山林C	鳥取市佐治町葛谷
南	4	福園倉庫裏	鳥取市佐治町福園
南	5	現河原センター用地	鳥取市河原町曳田20-2
西	1	美萩野野沢公園	鳥取市美萩野3丁目
西	2	北浜公園用地	鳥取市気高町北浜1丁目
西	3	山林D	鳥取市気高町八束水
西	4	瑞穂小学校	鳥取市気高町下坂本48

※校区再編の協議中だが、中央に近い瑞穂小学校を候補地に加えて検討

給食センターの候補地抽出②評価対象地の選定



※ ①：中心部 ②：西エリア ③：南エリア

想定事業費：2か所の場合

※参考資料

食数（炊飯有）	6,000食	10,000食
延床面積	2,820㎡	4,000㎡
建築工事費	1,861,200千円	2,640,000千円
設備費	683,100千円	1,138,500千円
その他設計費等	138,196千円	205,840千円
合計	2,682,496千円	3,984,340千円



※他市事例等を基に算出。同一の建築単価を使用しているが、規模の小さなものは建築単価は高くなる傾向があるため注意が必要。

※延床面積は炊飯機能・アレルギークリーニング室は「有り」を想定。また、一般的な一部（事務室等）のみ2階とした場合で想定。

※あくまで「施設の整備費」の想定値を算出したものであり、実際の維持管理や調理（運営）には別途費用がかかる。

※実際の事業費は、用地の状態・施設のスเปック・発注方法・入札の際の企業努力等によって異なるため、今後の調査検討において精査する必要がある。

参考事例

〈6,000食炊飯無し〉茂原市学校給食センター：約20億円

敷地面積：約9,000㎡
 建築面積：約2,200㎡
 延床面積：約2,700㎡
 構造・階層：鉄骨造・2階建て
 供給能力：6,500食/日
 配送対象学校：小学校14校・
 中学校6校
 配送車台数：7台



〈10,000食炊飯あり〉川崎市中部学校給食センター：約35億円

敷地面積：約7,000㎡
 建築面積：約3,300㎡
 延床面積：約4,700㎡
 構造・階層：鉄骨造・2階建て
 供給能力：10,000食/日
 配送対象学校：中学校14校
 配送車台数：18台

※2階調理室設置



想定事業費：3か所の場合

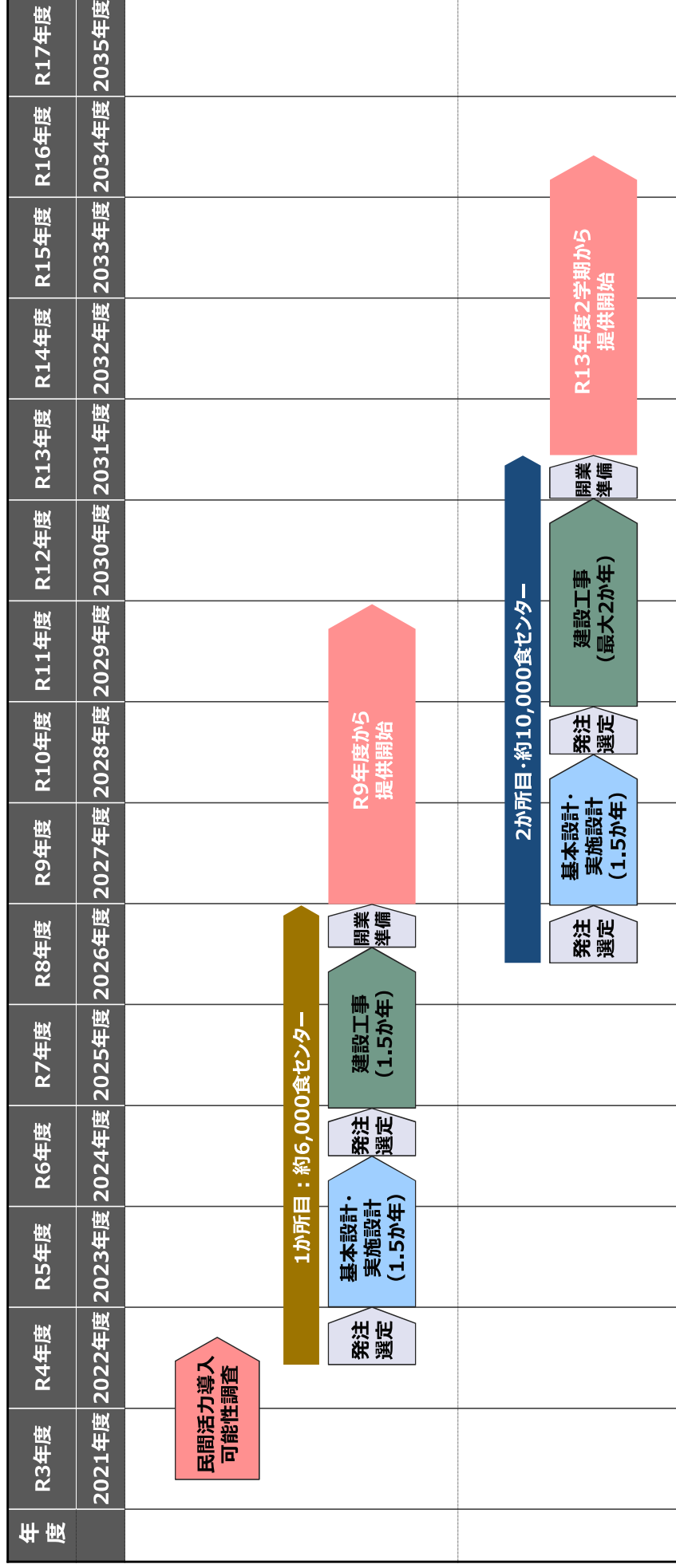
※参考資料



※他市事例等を基に算出。同一の建築単価を使用しているが、規模の小さなものは建築単価は高くなる傾向があるため注意が必要。
 ※延床面積は炊飯機能・アレルギ－調理室は「有り」を想定。また、一般的な一部（事務室等）のみ2階とした場合で想定。
 ※あくまで「施設の整備費」の想定値を算出したものであり、実際の維持管理や調理（運営）には別途費用がかかる。
 ※実際の事業費は、用地の状態・施設のスペック・発注方法・入札の際の企業努力等によって異なるため、今後の調査検討において精査する必要がある。

想定事業スケジュール：2か所の場合（6,000食＋10,000食）

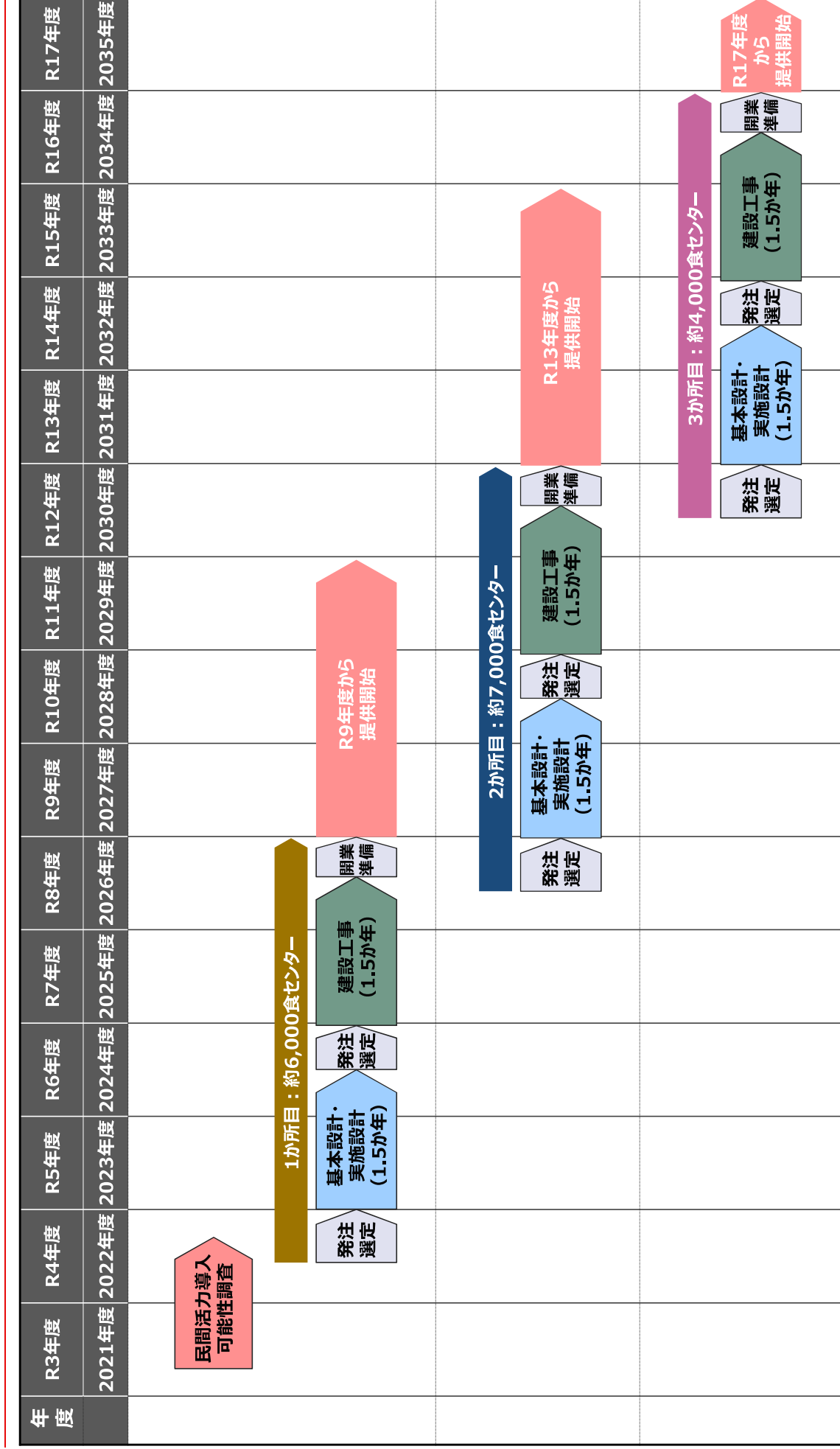
※参考資料



※今後の調査・方針検討によって変更となる可能性があります。

想定事業スケジュール：3か所の場合（6,000食＋7,000食＋4,000食）

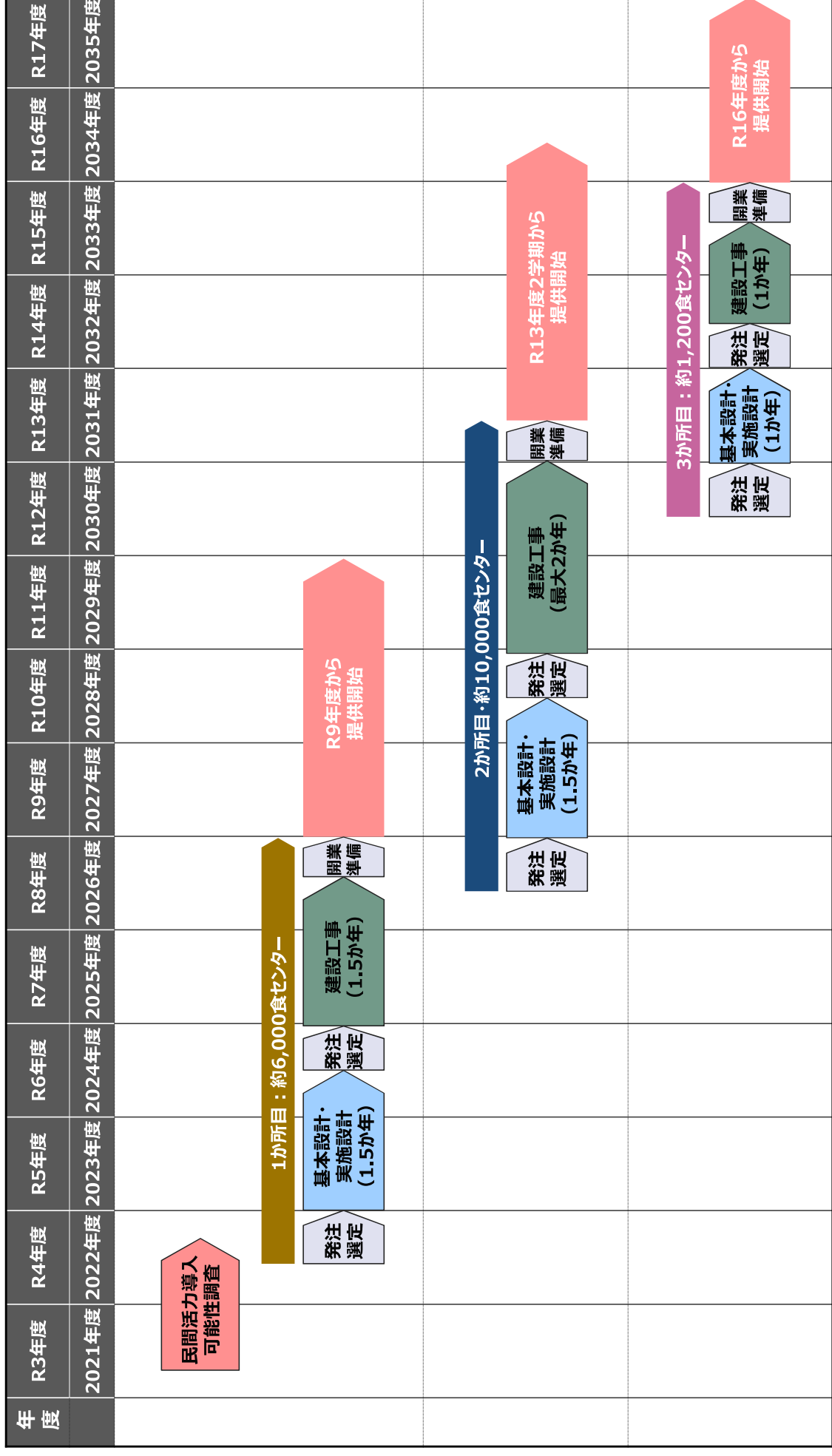
※参考資料



※今後の調査・方針検討によって変更となる可能性があります。

想定事業スケジュール：3か所の場合(6,000食+10,000食+1,200食)

※参考資料



※今後の調査・方針検討によって変更となる可能性があります。

別紙1 評価結果一覧

エリア	No.	名称	③敷地面積		②環境可能エリア					③立地環境			④災害可能性			⑤土地リスク		その他留意事項				
			面積(m ²)	炊飯有(有)	炊飯無し(有)	評価	国府小	東英学	佑治小	明治小	香中	50分圏内 学校数	30分圏内 学校数	用途地別	住守地隣接	周辺道路 幅員	評価		土砂災害 警戒区域等	土地の状態	評価	
中心部	1	土地開発公社所有地A	10,341	11,000	11,000	B	○	◎	×	◎	57	47	C	—	無	6	B	—	A	問題無し(要調査)	B	公社所有地のため購入費が必要 周辺道路線路の整備が必要
中心部	2	千代水スポーツ広場	9,500	10,000	10,000	B	◎	◎	○	◎	38	47	A	工業	無	9	A	0.5m~3m	B	確認困難	C	自動車専用道路のインターチェンジ周辺の計画が進行中のため、現時点では候補として選定させることは困難。今後の事業計画によっては候補となる可能性はある。
中心部	3	世紀小学校内	4,961	4,000	4,000	D	◎	◎	○	◎	38	48	A	—	無	7	B	0.5m~3m	B	問題無し(要調査)	B	職員駐車場として利用 形状が不整
中心部	4	千代テニス場	19,373	17,000以上	17,000以上	A	◎	◎	○	◎	38	48	A	1雑住	有	6	C	0.5m~3m	D	問題無し(要調査)	B	向学環境の代替地が必要
中心部	5	公設卸売市場内	3,500	2,000	3,000	D	◎	◎	○	◎	38	47	A	洋工業	無	7	A	3m~5m	D	確認困難	C	再整備計画中の市場内であり、地権確保が困難
中心部	6	津野非産養付用地の一部	7,434	7,000	7,000	B	◎	◎	○	◎	38	45	A	準工業	無	10	A	0m~3m	B	確認困難	C	貸付先(津野光庵)の事業計画によるため、現時点で候補として確定させることは困難。今後候補となる可能性はある。
中心部	7	あおば公園	9,666	10,000	10,000	B	◎	◎	○	◎	38	43	A	1雑住	有	9	C	—	A	問題無し(要調査)	B	新市公園であり、代替地の確保が困難
中心部	8	津ノ井スポーツ広場	10,114	10,000	11,000	B	◎	◎	○	◎	38	46	A	工業専用	無	12	A	0.5m~3m	B	確認困難	C	向学環境の代替地が必要
中心部	9	旧江山中学校校庭 (耕地除く)	6,500	6,000	6,000	C	○	○	○	◎	38	47	A	—	無	8	B	0m~3m	B	問題無し(要調査)	B	一部借地
中心部	9	旧江山中学校校庭 (耕地含む)	8,000	8,000	8,000	B	◎	○	○	◎	38	47	A	—	無	8	B	0m~3m	B	問題無し(要調査)	B	借地を継続利用できる場合
中心部	9	旧江山中学校校庭全体 (耕地除く)	11,000	12,000	12,000	B	◎	○	○	◎	38	47	A	—	無	8	B	0m~3m	B	問題無し(要調査)	B	校舎等の解体を行う場合
中心部	10	土地開発公社所有地B	10,658	11,000	12,000	B	◎	○	○	◎	36	41	C	2雑住	有	7	C	—	A	問題無し(要調査)	B	公社所有地のため購入費が必要
中心部	11	旧潮壽中学校	7,000	7,000	7,000	B	○	○	×	◎	37	47	C	—	有	8	C	—	A	問題無し(要調査)	B	特になし
南	1	山林A	26,189	17,000以上	17,000以上	A	○	×	○	○	40	2	D	—	無	6	B	—	A	問題無し(要調査)	B	土地造成が必要
南	2	山林B	41,222	17,000以上	17,000以上	A	○	○	○	○	55	32	D	—	無	—	D	—	A	問題無し(要調査)	B	土地造成が必要
南	3	山林C	31,597	17,000以上	17,000以上	A	○	×	◎	○	47	7	C	—	無	7	B	—	A	問題無し(要調査)	B	土地造成が必要
南	4	稲園倉庫裏	26,189	17,000以上	17,000以上	A	×	×	◎	×	16	4	C	—	無	6	B	—	A	問題無し(要調査)	B	土地造成が必要
南	5	現河原センター用地	—	—	1,200	—	◎	○	○	×	39	56	C	—	無	5	D	3m~5m	D	確認困難	B	現センター建替えもしくは長寿命化
西	1	美森野野公園	7,241	7,000	7,000	B	○	○	×	◎	37	46	B	—	有	5	D	—	A	問題無し(要調査)	B	都市公園であり、代替地の確保が困難
西	2	北浜公園用地	6,185	6,000	6,000	C	○	○	×	◎	33	11	B	—	有	10	C	—	A	問題無し(要調査)	B	特になし
西	3	山栂D	9,944	10,000	11,000	B	○	○	×	◎	31	10	B	—	無	5	D	—	A	問題無し(要調査)	B	土地造成が必要
西	4	瑞穂小学校	7,545	7,000	8,000	B	○	○	×	◎	35	15	B	—	無	6	B	0m~0.5m	B	問題無し(要調査)	B	校区内再編が進行中であり、現時点で候補として確定させることは困難。今後候補となる可能性はある。

A : 15,000㎡～
B : 7,000㎡～
C : 5,000㎡～
D : 3,000㎡～

A : 1時間以内にすべての遠隔地の学校に到達できる場合
B : 各エリア内の遠隔地の学校すべてに30分以内に到達できる場合
C : 遠隔地の5校のうち、1校でも30分以内に到達できる場合
D : 遠隔地の5校のうち、いずれにも30分で到達できない場合

A : 用途地別が工業・準工業
B : 宅地隣接無・道路幅員6m以上
C : 宅地隣接有・道路幅員6m以上
D : 道路幅員6m未満

A : 区域指定無
B : 洪水浸水想定3m未満
C : 洪水浸水想定3m以上
D : 複数の区域指定有

A : 調査済
B : 可能性が低い
C : 確認困難(利用可能性有り)
D : 航空写真上で隣材が視認できる等